

第6回

日本ディサースリア臨床研究会主催

STのための ミニレクチャー

会員限定

サルコペニアの摂食嚥下障害
～おさえておきたい臨床のポイント～

サルコペニアの摂食嚥下障害とは、全身及び嚥下関連筋群のサルコペニアによる摂食嚥下障害の事です。急性期の嚥下リハ患者のうち1/3程度は該当すると報告されています。早期離床、早期経口摂取、積極的な栄養療法（理想体重1kgあたり1日あたり30kcal程度）が有用です。つまり、十分な栄養管理のもとレジスタンストレーニングを行う事が有用です。本レクチャーでは、サルコペニアの摂食嚥下障害の診断、リスクの解説をした後に、具体的な運動療法について述べます。臨床研究で検証済みの運動療法に頭部挙上訓練、嚥下おでこ体操があります。また、レジスタンストレーニングを含む運動生理学に基づいた運動プログラムである高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム（Movement Therapy Program for Speech & Swallowing in the Elderly：MTPSSE）も紹介します。ディサースリアと嚥下障害に対するハイブリッドアプローチとして開発された手法でありSTの臨床場面での活用を期待できます。

日時

2024年
5月29日（水） 19：00-20：00

開催
方法

Zoom
ウェビナー

定員：300名

※申し込み先着順で、定員になり次第
締め切らせていただきます

講師

総合南東北病院 口腔外科
森 隆志 先生

参加
費用

日本ディサースリア臨床研究会 会員：無料
※非会員の方は入会後にお申し込みください

参加
申込

QRコードまたは下記アドレスより
お申し込みください

<https://forms.gle/SwcMp2B8UuamY6JV7>



お問い合わせ

日本ディサースリア臨床研究会ミニレクチャー実行委員会
E-mail：koho@dysarthrias.com